

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 15 日現在

機関番号：32641

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2012～2014

課題番号：24530149

研究課題名(和文)近代中国政治体制史の再検討：議会制度と統治正統性

研究課題名(英文) Rethinking the History of Modern and Contemporary Chinese Political Regime:
Parliamentary Institutions and Legitimacy of Rule

研究代表者

深町 英夫 (Fukamachi, Hideo)

中央大学・経済学部・教授

研究者番号：00286949

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文)：近現代中国の政治体制史に関する公刊・未公刊資料を調査・収集するとともに、2度にわたり日本・中国・アメリカの歴史学・政治学・法学の研究者を招聘して、「中国議会100年」および「中国代議政治100年」をテーマとするワークショップを開催した。これらの研究成果を、論文集『中国議会100年史：誰が代表されてきたのか』として2015年中に刊行する予定であり、また同論文集の中国語版の刊行も計画之中である。

研究成果の概要(英文)：Along with investigating and collecting published and unpublished materials concerning the history of modern and contemporary Chinese political regime, I invited historians, political scientists, and jurists from Japan, China, and the United States to hold two workshops under the titles of "A Hundred Years of China's Parliament" and "A Hundred Years of China's Representative Politics" respectively. The results of these studies are going to be published as a volume of papers titled One Hundred Years of China's Parliament: A History by the end of this year. I am also planning to publish the Chinese version of the volume of papers.

研究分野：政治学

キーワード：議会 体制 選挙

1. 研究開始当初の背景

(1) 研究代表者は約 20 年来、近代中国政治体制史の研究に取り組み、少なからぬ関連文献・資料を収集しており、また日本のみならず世界各国の研究者とも、交流の実績を持っているため、当研究を進める上で有利な状況にあった。

(2) 近現代中国政治史研究は、日本のみならず中国(大陸・台湾)はもちろん、北アメリカやヨーロッパの学界でも関心の高い分野であるが、100 年に及ぶ議会史を通観するという研究は、これまでにほぼ皆無であるため、当研究はきわめて斬新な意義深いものであった。

2. 研究の目的

(1) 近現代中国においては幾度もの体制転換を経て、単独政党が政権を独占的に掌握する「党国体制」が確立したが、それ以前には議会制民主主義の導入が繰り返し求められながらも、結局は失敗に終わった。その詳細な経緯と理由は、いまだ十分に明らかにされておらず、これを分析することが当研究の目的であった。

(2) 近現代中国政治体制史の研究は従来、「党国体制」を確立した前衛革命政党に焦点を当てたものが多かった。しかし、議会制民主主義の最終的な失敗にもかかわらず、今日に至るまで様々な代議制度・民意機関が設けられてきている。その性質・機能の変遷過程を検討し、それに基づいて新たな視点から近現代中国政治史を描き出すことが、当研究の目的であった。

3. 研究の方法

(1) アメリカの Stanford University, Hoover Institution (Palo Alto, CA), Harvard University (Cambridge, MA), Columbia University (New York, NY), Library of Congress (Washington DC)、およびフランスの Bibliotheque universitaire des langues et civilisations (Paris)で、中国近現代史関連資料の調査・収集を行なった。

(2) 2012 年 9 月 7 日にフランス・パリで開かれた European Association for Chinese Studies の第 19 回隔年会議に、青山瑠妙(早稲田大学)・加茂具樹(慶應義塾大学)・中村元哉(津田塾大学)の各氏とともに、“Whither the Chinese Political Regime? Historical and Contemporary Perspectives”という分科会を組んで参加し、研究代表者が司会と報告者を務めた。

(3) 2013 年 5 月 11 日に中国社会科学院馬克斯主義研究院代表団を迎えて座談会「中共十八大と今後の中国」を開き、研究代表者が司会を務め、日本側研究者も交えて研究発表

と討論を行なった。

(4) 2013 年 7 月 6 日にワークショップ《中国議會百年：政體與正統化之成敗》を開き、金子肇(広島大学)・孫宏雲(中山大學)・汪朝光(中国社会科学院近代史研究所)・中村元哉(津田塾大学)・杜崎群傑(九州大学)・加茂具樹(慶應義塾大学)の各氏を報告者、王奇生(北京大學)・水羽信男(広島大学)・李曉東(島根県立大学)・石塚迅(山梨大学)の各氏を討論者として迎え、研究代表者が司会を務め、研究発表と討論を行なった。

(5) 2014 年 7 月 26 日にワークショップ《中國代議政治百年：民意、選舉、體制》を開き、Joshua Hill (Ohio University)・王奇生(北京大學)・孫宏雲(中山大學)・水羽信男(広島大学)・張濟順(華東師範大学)・石塚迅(山梨大学)・中岡まり(常盤大学)の各氏を報告者、丸田孝志(広島大学)・金子肇(広島大学)・汪朝光(中国社会科学院近代史研究所)・杜崎群傑(九州大学)・中村元哉(津田塾大学)・李曉東(島根県立大学)の各氏を討論者として迎え、研究代表者が司会と討論者を務め、研究発表と討論を行なった。

4. 研究成果

(1) 以上の研究活動の集大成として、研究代表者編著の論文集『中国議會 100 年史：誰が代表されてきたのか』を 2015 年中に刊行する予定である。

その目次は以下の通りである。

序章 誰が誰を代表するのか? いかにか? (深町英夫)

第 1 部 中華民国前期

第 1 章 「選挙運動は不当だ!」: 第 1 回選挙への批判(ジョシュア・ヒル/家永真幸訳)
第 2 章 「神聖」から「唾棄」へ: 国会への期待と幻滅(王奇生/張玉萍訳)
第 3 章 民意に服さぬ代表: 新国会の「議会専制」(金子肇)

第 2 部 中華民国後期

第 4 章 地域代表か? 職能代表か? 国民党の選挙制度(孫宏雲/衛藤安奈訳)
第 5 章 一党支配を掘り崩す民意: 立法院と国民参政会(中村元哉)
第 6 章 権威主義的指導者と議会: 蒋介石の自由民主観(汪朝光/張玉萍訳)

補論 民族/民主: 国共両党政権と満族の政治参加(深町英夫・張玉萍)

第 3 部 中華人民共和国初期

第 7 章 前衛党と党外勢力: 建国期の「人民代表会議」(杜崎群傑)
第 8 章 実業界と政治参加: 第 1 回全人大と中国民主建国会(水羽信男)

第9章 「国家の主人公」の創出：第1回人民代表普通選挙（張濟順 / 杜崎群傑訳）

第4部 現代

第10章 権威主義的「議会」の限界：地方選挙と民意（中岡まり）

第11章 民意を吸い上げる選挙：地方人大・政協の役割（加茂具樹）

第12章 民主と法治の相克：中国大陸と台湾（石塚迅）

（2）上記論文集の中国語版として、《中國議會百年史：誰代表誰？》の刊行も計画中である。

その目次は以下の通りである。

序章 誰代表誰？如何代表？（深町英夫）

第1部 中華民國前期

第1章 “選挙而出以運動已与真理不合”：再談民國初期選挙制度（Joshua Hill）

第2章 從“神聖”到“厭棄”：民初國會的嘗試與幻滅（王奇生）

第3章 議會正統性與國民輿論的形成：以安福國會為例（金子肇）

第2部 中華民國后期

第4章 從區域代表制到職業代表制：以國民黨の理論與實踐為線索（孫宏雲）

第5章 政策決定之爭：國民參政會與立法院（中村元哉）

第6章 威權領袖與政治轉型：蔣介石の自由民主觀（汪朝光）

補篇 民族 / 民主：國共兩黨政權和北京滿族的政治參與（深町英夫、張玉萍）

第3部 中華人民共和國初期

第7章 共產黨與黨外勢力：建國時期的“人民代表會議”制度（杜崎群傑）

第8章 實業界與政治參與：第1次全國人民代表大會與中國民主建國會（水羽信男）

第9章 第1次普選運動與“國家主人翁”形象建構：以上海為例，兼及北京（張濟順）

第4部 當代

第10章 威權主義體制下的“議會”與選挙的意義：地方人大中の選挙與民意（中岡瑪利）

第11章 民主制度的政治角色：為體制穩定貢獻的“利益表達”功能（加茂具樹）

第12章 司法對民意的控制：大陸與台灣（石塚迅）

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 9 件）

深町英夫「日本心象：中国人の表象・記憶する 3・11」佐藤元英・滝田賢治編著

『3・11 複合災害と日本の課題』中央大学出版部、2011年、109-125頁。

張玉萍・深町英夫「滿族と国民党政権：中華民國末期の滿族文化協進會と滿族協會」『和光大学表現学部紀要』第14号、2014年、111-124頁。

深町英夫「大陸コンプレックスを越えて：日本人の辛亥革命研究百年史」齋藤道彦編著『中国への多角的アプローチ』中央大学出版部、2014年、203-218頁。

深町英夫「近代日本のアジア主義を振り返る：榎本泰子『宮崎滔天：万国共和の極楽をこの世に』書評」『東方』第394号、2013年、22-26頁。

深町英夫「家近亮子『蒋介石の外交戦略と日中戦争』書評」『東アジア近代史』第16号、2013年、259-265頁。

深町英夫：《南昌行營爭寵記：新生活運動的發軔與蔣介石の派系運作》，黃自進、潘光哲主編《蔣介石與現代中國的塑造》，中央研究院近代史研究所，2013年，第2冊，91-122頁。

深町英夫「孫文：中華民族意識の源流」趙景達・原田敬一・村田雄二郎・安田常雄編『東アジアの知識人2 近代國家の形成：日清戦争～韓国併合～辛亥革命』有志舎、2013年、12-27頁。

深町英夫「南昌行營爭寵記：新生活運動の發軔と蔣介石の派閥操縦」山田辰雄・松重充浩編著『蔣介石研究：政治・戦争・日本』東方書店、2013年、179-207頁。

FUKAMACHI Hideo, “Farewell to the Continent Complex: A Hundred Years of Japanese Historiography on the 1911 Revolution,” *Journal of Modern Chinese History*, Vol. 6, No.1, 2012, pp. 81-93.

〔学会発表〕（計 4 件）

深町英夫、張玉萍：《民族 / 民主：北京滿族與國共政權の選挙》，“1950-1960年代的中國”工作坊，中國，上海，2014年12月6日。

深町英夫：《星火燎原 / 樂隊花車：新生活運動與与中央-地方關係》，“中國國民黨一大暨第一次國共合作成立90週年”學術討論會，中國，中山市，2014年11月16日。

深町英夫「日本心象：中国人の表象・記憶する 3・11」中央大学政策文化総合研究所「3・11 複合災害と日本の課題」シンポジウム、八王子市、2014年3月11日。

FUKAMACHI Hideo, “Why Has a Jasmine Revolution Not Occurred in China? On the Centennial of the Xinhai Revolution,” *European Association for Chinese Studies*, Paris, France, 09/07/2012.

〔図書〕(計 2 件)

深町英夫『身体を躰ける政治：中国国民党の新生活運』岩波書店、2013年。

辛亥革命百周年記念論集編集委員会編『総合研究 辛亥革命』岩波書店、2012年。

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

深町英夫 (FUKAMACHI, Hideo)

中央大学・経済学部・教授

研究者番号：00286949

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：